

## 輸送動向について(3月分)

平成19年4月

## 1. 輸送概況

今月は、中旬に、東北地方の日本海側で強風による運転規制が行われた他、東京貨物ターミナル駅構内での保安装置故障による輸送障害が発生し、これらの影響で、月全体では高速貨38本が運休した。

なお、3月18日に「山陽線鉄道貨物輸送力増強事業」の完成に伴うダイヤ改正を実施し、東京から九州に初めて1300トン列車が乗り入れた。

荷動きについては、下旬に入り、引越荷物をはじめとした年度末需要が旺盛となり、強勢な出荷となったものの、全般的にはやや弱含みで推移し、輸送量全体では前年比99.8%となった。

コンテナ貨物では、化学薬品、積合せ貨物、エコ関連物資などが前年を下回った他、モデルチェンジを控え、一部メーカーでの出荷が一時的に減少した自動車部品がやや低調に推移したものの、樹脂を中心に堅調な出荷が続く化学工業品及び政府米の出荷が引続き好調であった農産品などが前年を大きく上回り、コンテナ貨物全体では前年比102.5%となった。なお、今月で平成17年8月より20ヶ月連続で前年を上回り、過去最長となっている。

車扱貨物では、鉄鋼メーカーの高炉改修工事により出荷調整のあった石灰石、ボイラー故障により減送となった化学薬品の他、石油、セメントなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比95.4%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,176	2,123	102.5%	23,184	22,357	103.7%
車 扱	1,256	1,316	95.4%	13,431	14,761	91.0%
計	3,433	3,439	99.8%	36,615	37,118	98.6%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	127	105	22	121.0%
	生野菜青果物	72	74	-2	97.3%
	化学工業品	206	195	11	105.6%
	化学薬品	155	161	-6	96.3%
	食料工業品	297	294	3	101.0%
	紙・パルプ	337	335	2	100.6%
	他工業品	155	149	6	104.0%
	積合せ貨物	236	242	-6	97.5%
	自動車部品	70	68	2	102.9%
	エコ関連物資	33	38	-5	86.8%
	その他	488	462	26	105.6%
コンテナ計	2,176	2,123	53	102.5%	
車 扱	石 油	846	862	-16	98.1%
	セ メ ン ト	87	106	-19	82.6%
	石 灰 石	33	55	-22	59.9%
	車 両	141	134	7	105.3%
	紙・パルプ	30	33	-3	91.5%
	化学薬品	42	60	-18	69.6%
	その他	78	67	11	116.1%
車 扱 計	1,256	1,316	-60	95.4%	
合 計	3,433	3,439	-6	99.8%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)